

令和6年度 学校経営計画

北杜市立泉中学校

1 学校教育目標

「主体的に学び、行動する、人間性豊かな生徒の育成」

目指す生徒像

- ・知的好奇心に満ち、意欲的に学ぶ生徒
- ・思いやりの心を持ち、社会性の豊かな生徒
- ・心身ともに健康でたくましく、耐えることのできる生徒

2 学校経営の方針と具体的な取組

(1)適切な教育課程のもと、三年間をもって学校教育目標及び目指す生徒像の実現に迫ることを第一とする。

○確かな学力の育成(知)

- ①基礎的・基本的な学習内容(知識・技能)の習得と定着
- ②家庭学習の定着と充実(復習ノートの効果的活用と工夫)
- ③聞く力、話す力の育成(思考力・判断力・表現力の育成)
- ④個に応じた学習指導と授業の工夫(ICTの効果的活用等)
- ⑤主体的・協働的に取り組む態度の育成(対話・学び合い等)

⇒ 一人一人の学力をどう担保するか(子供主体の授業へ・授業改善・授業観の転換)

○豊かな人間性の育成(徳)

- ①生徒会活動の充実(清陵祭、あいさつ運動、ボランティア活動)
- ②好ましい人間関係の育成(きずなの日、Q-Uの活用、縦割り活動)
- ③心の教育の充実(道徳公開・読書教育の充実・命の学習・SOSの出し方)
- ④基本的生活習慣の育成

⇒ 人間関係づくり、コミュニケーションスキルの育成

○心身の健康と体力の向上(体)

- ①保健・健康教育・食育の充実
- ②体育的行事の充実
- ③全校体育での体力づくり(運動に親しむ態度の育成)

⇒ 共(教師と生徒)に「楽しむ」姿勢

(2)一人一人を大切にしつつ、自己肯定感を育む生徒指導の充実を図る。

- ①一人一人に伝わる生徒指導(受容と生徒理解)
- ②チームで行う生徒指導(報告・連絡・相談・記録の徹底、一人で抱え込まない)
- ③共感的理解(寄り添う)に基づき、自己肯定感を高める生徒指導(温かくも厳しく支える)
- ④「多様性を認め合う」基盤づくり、教育活動全般にわたる人権教育

⇒ 学級集団づくり(学級経営)、学級活動の充実

(3)地域とのつながりを大切に、地域とともにある学校づくりを行う。

○家庭や地域に開かれた信頼される学校づくり

◇北杜市立泉小中学校運営協議会の運営

◇地域人材・地域教材の活用(ほくと学・ほくと学び舎、原っぱ教育の推進)

◇学校評価による教育課程の見直し・改善・調整(教育活動の検証とPDCAサイクルによる改善)

◇学校情報の発信

◇教職員の資質・能力の向上

- ・一人一実践(校内研, 教職員評価と関連づけて)
- ・人事評価による目標設定と授業観察(目標設定の明確化)⇒グランドデザインとのリンク
- ・情報の共有による協働体制の確立
- ・校内研究の充実
- ・各種学力検査の分析と対策(全国学査, 県学力把握調査の結果分析と具体的な対策の焦点化)
- ・「特別の教科 道徳」の実施と充実

(4)安心・安全のもとで学ぶことができる学校づくりを行う。

①地域と連携した防災体制と実践的な避難訓練の実施

(市地域防災担当との打ち合わせ, 防災意識を高める防災教育・避難訓練の工夫)

②校内施設の安全管理・教育環境の整備

(市学校大規模改修に向けての要望の整理・日常の安全点検と迅速な修繕)

(5)教育課程の編成と実施

①新教育課程の確実な実施

②キャリア教育の推進

- ・各学年に応じた指導計画のもとにおける実施及び評価
- ・地域人材の活用
- ・指導計画の見直しと改善

(6)地域の特色を活かした教育(原っぱ教育)の推進

○原っぱ教育の基本理念「不屈の精神と大志を持った人材の育成」

◇泉中学校 原っぱ教育創生事業の重点と取組

『ほくと學』の推進(北杜市の自然や地域資源を活かした体験的活動, 探究的活動)

- ・生徒や学校の実態に即した体力づくり(全校体づくり・強歩大会等)
- ・自然や美しいものに感動する心を育てる(1年地域学習・芸術鑑賞教室・合唱祭等)
- ・地域の歴史, 文化に触れ, ふるさとを大切にすることを育てる
- ・思いやりの心を育て認め合い, 協力し合う人間関係と集団を育てる
- ・地域の特色ある部活動の推進